

手話による教育、聴覚障害者と聴者の共存をめざす

## 第28回

# ろう・難聴教育研究大会のご案内

2005年7月30日(土)～7月31日(日)

## 大会テーマ：手話を基盤とするろう教育PARTⅢ

—異なる視点でろう・難聴児の「ことば」と「育ち」を考える—

主催 ろう・難聴教育研究会(旧TC研)

昨今の聴覚障害教育は、特別支援教育制度の導入やろう学校の統廃合に見られるように、教育の専門性を高めるよりも、教育行政の効率化に翻弄されているように見えます。これは、ろう学校の生徒数の減少を、ろう学校の理念・指導法の根本的な欠陥ととらえ、内部から変革していこうとする姿勢が不足した結果でもあります。ろう学校の内部には、なかなかろう学校の欠陥が見えてこないのです。

こうした時期においては、聴覚障害教育を、いちど、聴覚障害教育にとらわれない、外部の新鮮な視点から見直し、ろう学校改革を新しい視点で考えていくことも、必要ではないでしょうか。

特に、これまで聴覚障害児にとって一番重要とされてきた「ことば」、「コミュニケーション」問題と、幼児はどのように育てられるべきかという「育ち」を中心に考えてみたい。「ことば」、「コミュニケーション」のもつ意味をベースに、その指導の実践例について討議すると共に、聞こえない子どもにとって、集団のもつ意味と重要性についても、考えていきたい。

魅力ある聴覚障害児教育をめざして、参加者の皆さんが、現場で元気を出し、活躍できる契機が今大会で得られればと願い、プログラムを工夫しました。ろう・難聴教育にかかわる保護者、教員、研究者、福祉・医療関係者、成人ろう・難聴者、手話関係者、さまざまな立場の方々の参加をお願いいたします。

ろう・難聴教育研究会会長 伊藤政雄

- |   |     |   |
|---|-----|---|
| 1 | 名称  | 第28回ろう・難聴教育研究大会   |
| 2 | テーマ | 「手話を基盤とするろう教育PARTⅢ<br>—異なる視点でろう・難聴児の「ことば」と「育ち」を考える—           |
| 3 | 主催  | ろう・難聴教育研究会(旧トータルコミュニケーション研究会)                                 |
| 3 | 期日  | 2005年7月30日(土) 9時20分～<br>7月31日(日) ～17時00分終了                    |
| 4 | 会場  | 小松川区民施設(小松川さくらホール)<br>〒132-0034 江戸川区小松川3-6-3 TEL 03-3683-7761 |

## 第28回 ろう・難聴教育研究大会実施要項

- 1 名称 第28回ろう・難聴教育研究大会
- 2 テーマ 「手話を基盤とするろう教育PARTⅢ」  
—異なる視点でろう・難聴児の「ことば」と「育ち」を考える—
- 3 主催 ろう・難聴教育研究会（旧トータルコミュニケーション研究会）
- 4 期日 2005年7月30日（土） 9時20分～受付  
10時00分開始～17時30分終了  
18時00分～20時30分（交流会）  
7月31日（日） 9時00分～受付  
9時30分開始～17時00分終了
- 5 会場 小松川区民施設（小松川さくらホール）  
〒132-0034 江戸川区小松川3-6-3 TEL 03-3683-7761 FAX 03-3683-7764
- 6 交通 11の会場案内をご覧ください。
- 7 参加費

		2日間参加	1日のみ参加	交流会参加	昼食代
会員	一般	4000円	3000円	2500円	1000円
	学生	3000円	2000円	2500円	1000円
非会員	一般	6000円	4000円	2500円	1000円
	学生	4500円	3000円	2500円	1000円

(\*会場付近には昼食をとったり買ったりするお店がありません。)

### 8 申込方法

- (1) 下記の郵便振替口座に送金した上で、所定の申し込み票に記入し、メールまたはFAXして下さい。

\* 所定の申し込み票は、最後のページをコピーしてお使い下さい。

下記宛FAXで請求することもできます。

FAX 048-987-1369 長谷川純子

\* 送金と申し込み票を確認し、参加票(はがき)をお送りします。

参加当日、受付に参加票を提示して下さい。

なお、郵便振替での申し込みは7月20日に締切ります。

当日も参加を受付ますが、申し込みは受付の混乱を避けるため、郵便振替でお願いします。

- (2) 参加費の送金先

口座番号 00110-2-314972

加入者名：ろう・難聴教育研究会（旧TC研）

- (3) メールでの申し込み先 [naoh@green.ocn.ne.jp](mailto:naoh@green.ocn.ne.jp) 長谷川純子

- (4) FAXでの申し込み先 048-987-1369 長谷川純子

- (5) 研究会会員への加入のお誘い

年3～4回の会報、大会・小研究会の割引参加などの特典があります。

加入方法は、大会参加費(会員分)と一緒に「会費4000円」を払込んで下さい。

- 9 問合せ先 TEL 090-6035-4686 矢沢国光  
FAX 03-3884-9582 メール [tcymaeda@td6.so-net.ne.jp](mailto:tcymaeda@td6.so-net.ne.jp) 前田芳弘
- 10 情報保障 手話通訳、パソコン字幕表示があります。

11 プログラム

7月30日（土）（3F多目的ホール）	
9:20	受付
10:00	挨拶
10:10	<p><b>講演</b> 平田オリザ（劇団「青年団」主宰。桜美林大学助教授、第39回岸田国土戯曲賞受賞）</p> <p><b>「対話の言葉を持つということ」（仮題）</b></p> <p>「伝わらない」体験が必要、「分かり合えない」という絶望からの出発、私とあなたは違う言葉話している、・・・、このようなメッセージから聴覚障害教育の重要なヒントを探す。</p>
12:00	昼食
13:00 (休憩10分)	<p><b>実践報告</b> ①早瀬憲太郎（スマイル・フリースクール）</p> <p><b>「児童生徒への手話指導」</b></p> <p>日本語を教える国語のように「手話を教える」指導を模索する実践。</p>
14:30 (休憩10分)	<p><b>実践報告</b> ②佐渡雅人（平塚ろう学校）</p> <p><b>「児童の表現を生かす国語指導」</b></p> <p>読売教育賞に輝く実践のエッセンスを報告していただく。</p>
16:00	<p><b>実践報告</b> ③阿部陽子（杉並ろう学校）</p> <p><b>「児童の実態に応じた国語教材の作成」</b></p> <p>読み書きに苦手意識を持つ児童に対する指導の工夫。</p>
17:20	連絡
17:30	終了
18:00	<b>交流会</b> （さくらホール内の2F集会室1で行います。）
7月31日（日）（3F多目的ホール）	
9:00	受付
9:30	<p><b>講演</b>「子どもが育つ道すじー主体性に注目して」</p> <p>青木久子（青木幼児教育研究所）</p> <p>聴覚障害児である前に子どもである。聴覚障害児が育つ道すじを根っこから見つめ直す機会にしたい。</p>
11:30	<p>昼食</p> <p><b>ろう・難聴教育研究会研総会</b>（非会員の方が同席してかまいません。）</p>
13:00 (休憩10分)	<p><b>提言</b> 伊藤政雄（ろう・難聴教育研究会会長）</p> <p><b>「集団としてのろう学校の重要性」</b></p> <p>特別支援教育では場から個の教育への変化に焦点が当たっている。それでよいのか。長年の現場経験から切り込んでいく。</p>
14:00	<p><b>パネルディスカッション</b></p> <p><b>テーマ</b> 「元気を出そう！ろう学校」</p> <p><b>司会</b> 長谷川洋（元筑波技術短期大学）</p> <p><b>パネリスト</b> 市橋詮司（元岡崎ろう学校、東海医療福祉専門学校） 濱田豊彦（東京学芸大学） 南村洋子（大塚ろう学校） 越智大輔（東聴連事務局長）</p> <p>言語指導法の混乱、ろう学校存続の危機、専門性の解体等、ろう学校の問題点とその起因を考え、どうすれば解決できるか、研究者、早期教育経験者、ろう学校教師、教育を受けた立場から意見を出し合い、ろう教育変革への提言を行う。</p>
17:00	挨拶・終了



## 2005年7月30日～7月31日 第28回ろう・難聴教育研究大会 参加申込書

※は必ず記入して下さい。(その他は任意)。FAXかTELのいずれか記入して下さい。

*ふりがな		*性別	* 会員区分		*聴覚障害の区分
*氏名		男 女	会 員 非会員	会 員 番 号 * -----	聴 障・健 聴
*住 所	〒				
*F A X		*T E L			
*E-Mail	(会員で、メールアドレス未登録の方は、記入してください)				
所 属 団 体	団体区分 (該当する番号を○で囲んで下さい) 1. 学校関係者    2. 親    3. 聴覚障害者 4. 手話関係者    5. 学生    6. その他				

(★会員番号は会報帯封の名前の下に印刷してある5桁の番号です)

項 目		金 額	* ○ 印
会 員	一 般	2日間参加	4000円
		1日間参加	3000円
	学 生	2日間参加	3000円
		1日間参加	2000円
非 会 員	一 般	2日間参加	6000円
		1日間参加	4000円
	学 生	2日間参加	4500円
		1日間参加	3000円
交 流 会 参 加 費		2500円	
昼 食 代	7月30日	1000円	
	7月31日	1000円	
合 計			* (A)

※会員の方で会費を振込まれる方は、下記にご記入下さい。

会費 (年4000円) を	年分 (B)	円を振込みます。
---------------	--------	----------

振込み額合計 (A) + (B) = \_\_\_\_\_ 円

振込み日                    2005年    月    日